

2011年3月23日

臨床研究遺伝子発現データベース「iCIS-crdb」の製品発表について
—医療・製薬の研究機関向け遺伝子マーカー探索の効率化、加速化を強力に支援—

株式会社DNAチップ研究所（社長：的場 亮、本社：神奈川県横浜市）は、医療・創薬の研究機関向けに、新データベース・ソフトウェア製品である「iCIS-crdb：臨床情報付きRNAデータベース」（以下「iCIS-crdb」という）を、2011年3月1日付で販売を開始した。新製品 iCIS-crdb を導入すれば、研究対象を特定して、創薬研究、新診断マーカー、疾患モニタリング・マーカー探索時の基礎の臨床研究と実験解析を改めて実施することなく、**臨床インフォマティクス解析研究、特にバイオ・マーカーの探索の効率化、加速化を強力に**推進することが可能となる。

新製品 iCIS-crdb は、既に平成 22 年 10 月より販売サービス中の統合臨床インフォマティクス・システム「iCIS」のファミリー製品の一つとして構成される。従来の iCIS は、iCIS-mi と iCIS-ri の 2 つのサブシステムで構成（以下にサブシステムの説明あり）されている。新製品 iCIS-crdb は、従来 iCIS の導入サイトの強いニーズから、その成果の応用として派生し誕生した新製品である。

新規導入に際しては、iCIS-crdb のソフトウェア使用許諾契約を締結する。標準価格は、取り扱うデータの規模により変動するが、現在は、100 件のデータ組み込みの場合、5,000 万円（税込、iCIS の 1 製品導入）となる。追加の iCIS 製品は 1 追加導入につき 66 万円（税込）となる。

診断事業の追加の新規メニューとして医療機関、研究機関（特に製薬企業）を対象に、2012年3月期で、1億円の売上を見込み、3年後には iCIS ファミリー製品として 4 億円の事業として計画している。

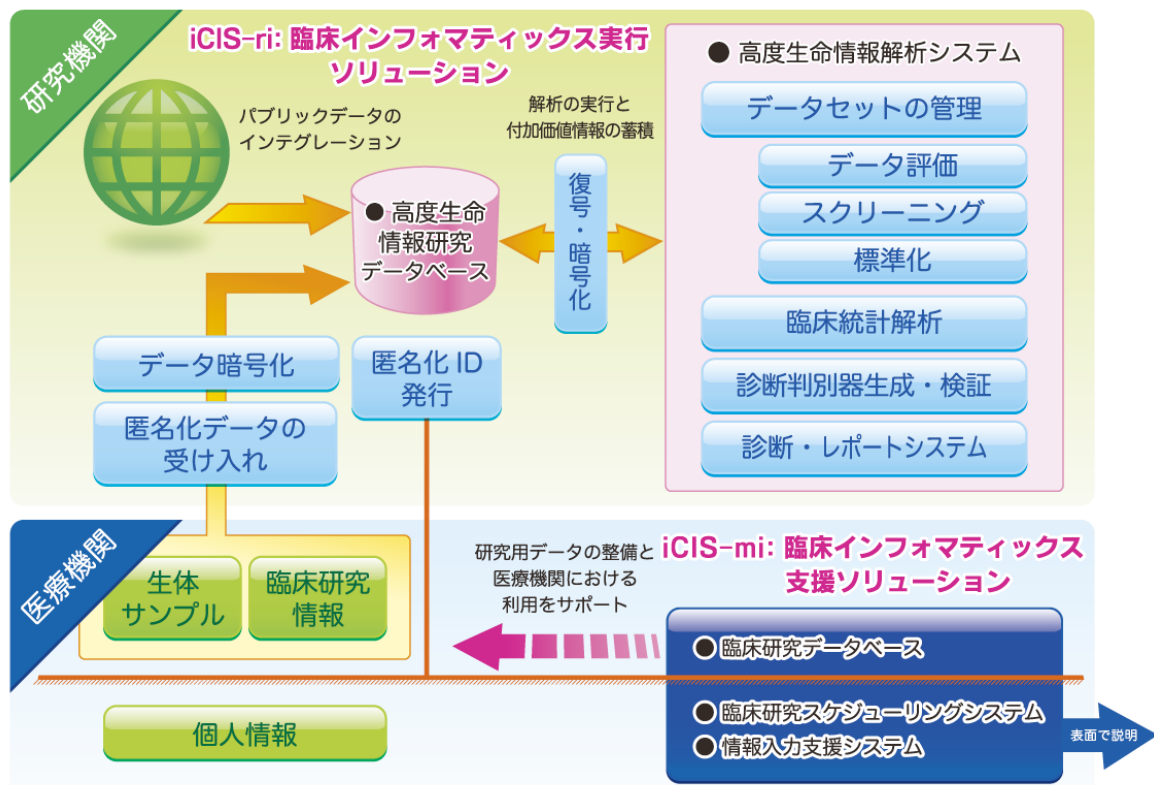
「iCIS」は「iCIS-mi」と「iCIS-ri」という3つの製品サービス（サブシステム）からなる。以下に、iCIS-crdb の母体となっている iCIS-mi と iCIS-ri 製品について説明する。

医療機関向けに展開する「iCIS-mi」は、多忙を極める医療現場に対し、先進デバイス（iPad 等の情報端末等）での臨床情報入力システムを提供し、入力作業の効率化、情報の規格・標準化により、必要な情報の収集をサポートする。さらに収集した必要なデータを臨床研究データベース化し、あらゆる角度から抽出・分析ができる臨床インフォマティクス研究支援システムである。本システムは、これまで関節リウマチ研究で共同研究を実施している埼玉医大総合医療センター リウマチ・膠原病内科にテストケースとして導入し運用している実績があり、現在慶應義塾大学医学部リウマチ内科にも導入中である。当製品は、個々の医療現場の実態に合った形で運用システムとしてカスタム・サービス付きで導入する製品である。

研究機関向けに展開する「iCIS-ri」は、DNAチップ研究所が使用許諾権を有する大量

かつ多様な遺伝子発現データを高度生命情報研究データベースとしてまとめたものである。これらのデータは、国のプロジェクトへの参加、国内研究機関との共同研究及び自社の研究開発を推進していく中で、約 10 年をかけて独自に集積、標準化し、一つの体系にまとめ上げたものである。この長年に亘る遺伝子発現プロファイル収集に拘った、粘り強い蓄積の成果が、今回の iCIS-crdb 製品の誕生となった。

iCIS: 統合臨床インフォマティクスシステム



1. iCIS (integrated Clinical Information System) のコンセプト

- iCIS-mi (iCIS for medical institutes) : 情報処理機関の立場から、共同研究先である医療機関において共同構築した、サンプル・臨床情報等の収集と利用のための情報処理環境をシステム化した製品。
- iCIS-ri (iCIS for research institutes) : 情報処理機関 (DNAチップ研究所) において運用中の情報解析環境およびデータベースを、運用ノウハウとともにシステム化した製品。
- iCIS-crdb (iCIS for Clinical Research Database) : 臨床情報付き RNA データベースである。研究対象を特定して、創薬研究、新診断マーカー、疾患モニタリング・マーカー探索に導入すれば、新規に基礎の臨床研究と実験解析を実施することなく、臨床インフォマティクス解析研究、特にバイオ・マーカーの探索等の研究用にシステム化した製品。

2. iCIS-crdb 組み込みデータ (「以下CR (Clinical Research) データという)」の特徴

- 非連結化した臨床情報付き、ヒト遺伝子発現プロファイルの実験数値を含む各種測定データである。
- 採取試料等は、末梢血検体、組織細胞等である。
- 臨床情報のみのデータの場合もある。
- CRデータは、iCIS-crdb を介してのみ参照可能である。
- 導入目的は、研究用途に限定される。ただし、その成果は導入先の権利となる。

3. 販売開始日

2011年3月1日

4. 事業計画 (目標売上高)

2011年度 1億円

2013年度 4億円 (iCIS ファミリー合計)

5. 用語の説明

- ・ 遺伝子発現プロファイル : 生体内の核酸の一種である RNA (RiboNucleicAcid) 量を、DNA マイクロアレイや PCR 等の研究ツールで計測し、そこから得られた情報のセット。
- ・ マーカー : 特定の測定目的用に選別された遺伝子等のセット。
- ・ 臨床情報 : 医療機関に通院する患者の各種検査値や投薬情報等で一般にはカルテ情報と同義。iCIS 運用の中では、RNA データと合わせて CR データと呼称される。

以上